

マレーシア・サラワク州陸上 新規探鉱鉱区の取得について

記者各位

当社(社長:西尾進路)の石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:大森輝夫)は、12月7日にマレーシア・サラワク州陸上のSK333鉱区を取得し、マレーシア国営石油会社ペトロナスと生産分与契約を締結しましたので、お知らせいたします。

SK333鉱区は、マレーシア・サラワク州陸上に位置し、周辺に油田が存在する有望な鉱区であることから、新たな油田の発見が期待されております。

当社グループは、東南アジアを上流部門における重点事業地域の一つとして位置づけており、マレーシアにおいては、サラワク州のミリを拠点として、オペレーターとしてガス生産・開発事業を行っているサラワク沖SK10鉱区、パートナーとして参画しているSK8鉱区(両鉱区ともに当社が参画しているマレーシアLNGティガ社の天然ガス液化プラントに原料ガスを供給)に続く3つ目のプロジェクトとなります。

今後もマレーシアでの事業をさらに拡充するとともに、その他重点地域においても積極的に事業を展開し、一貫操業体制の確立とエネルギーの安定的な供給のため、一層の努力を続けてまいります。

記

1. プロジェクト概要

(1) 鉱区名	マレーシア サラワク陸上SK333鉱区	
(2) 契約締結日	2007年12月7日(金)	
(3) 鉱区面積	3,100 km ²	
(4) 権益比率	新日本石油開発株式会社(※1)	75%
	PETRONAS CARIGALI SDN. BHD (※2)	25%
(5) オペレーター	新日本石油開発株式会社	

(※1) 新日本石油の100%子会社

(※2) ペトロナスの100%子会社

2. 作業概要

(1) 探鉱期間 5年間(2007年12月～2012年12月)

(2) 予定作業 地震探鉱作業、試掘2坑

以上

● 別添資料

 [新規取得鉱区の位置\(622.7KB\)](#)